

2026/08/17 立山研修（2 学年自然科学コース）

8月の立山に登り、立山カルデラの地質的特徴や成立の歴史、立山の植生などについてのフィールドワークを行いました。当日は天候が良く、移動のバスから臨む景色は絶景でした。標高 2,450m の室堂平から登山を開始し、地面を覆う自然の石の影響で歩きづらく息が上がってしまいましたが、声を掛け合って励まし合いながら登り切ることができました。標高 2,635m、標高差およそ 200m を登りきり、視線の下にかかる雲から見える立山カルデラは絶景でした。

昼食を終えると弥陀ヶ原まで下り、水質調査を行いました。窒素やリン、塩素の有無などについて試薬を使って定量分析し、栄養分に乏しくも美しい湿原であることがわかりました。また、7,300 年前に起こった喜界島(鹿児島県)の大噴火によって大気中に噴出した火山灰の層を確認するなど、地層への知識や理解を深めるとともに、好奇心を刺激された研修となりました。





